

Release Notes—AJA Mac Plug-Ins for Adobe Version 8.0

対応製品：KONA 3/LHe/LHi/LSe/lo Express

このソフトウェアリリースにはMac OS X上で動作するAdobeビデオアプリケーション用のプラグインソフトが含まれています。初めてKONAカードおよびlo Expressを使う場合は、Read Me First書類、ユーザマニュアルを必ず確認してください。このソフトウェアリリースは、対応製品に新しい機能と動作の最適化を提供します。

システム要件

- ・ QuickTime 7.6以降
- ・ Mac OS X 10.6以降（64bitカーネルモードで動作している必要があります）
- ・ AJA KONA/lo Express ドライバーバージョン8.0（別途インストールが必要です）
- ・ 推奨システム環境と設定については、下記URLを参照してください

<http://www.aja-jp.com/support-kona-rec-sys.html>

- ・ Adobe Premiere Pro、AfterEffects、Photoshop CS5

※このドライバはAdobe CS4をサポートしていません。

新機能

- ・ Adobe Premiere Pro、AfterEffects、Photoshop CS5をサポート
- ・ 全てのプラグインが64bitで動作
- ・ Premiere Pro CS5のMercury Playback Engineをサポート
- ・ Premiere ProとNeo3Dを利用したCineForm ステレオスコピック出力をサポート-Neo3DとKONA 3を使用している場合、AJAシーケンス設定からstereoscopic playbackを選択することによって、左右チャンネルを別々にHD-SDIから出力することが可能になります。あるいは、その他の3D方式（Side by Sideやアナグリフなど）をNeo3D Controlから選択することによって、標準的なシングル出力のカードから出力することができます。
- ・ AJA Premiere Proシーケンス上でのCineForm QuickTimeファイルの再生出力をサポート。CineForm製品の正規ユーザーは、CineForm QuickTimeファイルをタイムライン上に配置し、編集、プレビュー出力が可能になります。
- ・ AJA Premiere Proシーケンス上でApple ProRes 422のリアルタイム再生出力をサポート
- ・ このバージョンに合わせてマニュアルの内容を改定

改善点

- ・ Premiere Proでユニコードをファイル名に含むファイルにアクセスした場合の問題を解消
- ・ AJA Premiere Proシーケンス上で、AVC-IntraやAVCHD、DVCPRO HDおよびProResなどの再生パフォーマンスを改善
- ・ AJA Premiere Pro Device Controlプラグインで複数カードを使用した場合の問題を解消
- ・ Premiere Proでキャプチャ後にクリップ名を変えることができない問題を解消
- ・ Premiere Proの720pシーケンスでv210レンダリングの問題を解消
- ・ Premiere Proでトランジションやエフェクトのレンダリング結果のフレームが繰り返してしまう問題を修正
- ・ Premiere ProからKONA LHiあるいはIo ExpressのHDMI出力の安定性を改善
- ・ Premiere ProからPAL DVを出力した場合にフィールドが反転する問題を解消

既知の問題と制限事項

- ・ Photoshop pug-in on Macは再生出力専用です。キャプチャー機能はありません。
- ・ プログレッシブフォーマットのプロジェクトでHDMI出力を得るには、ほとんどの場合“PSFではない正確なプログレッシブ”設定にする必要があります。プログレッシブフォーマットを取り扱う場合の多くは、HD-SDIやアナログコンポーネント出力のために、PSF (Progressive Segmented Flame) としてプロジェクトを設定します。AJAの1080pプロジェクト設定もデフォルトではPSFに設定されています。HDMI出力のために強制的にプログレッシブ設定を行うためには、Premiere Proの再生設定の“disable segmented frames”にチェックを入れる必要があります。
- ・ Core Audio ドライバは、Premiere Proでは使用されなくなりました。このドライバは未だにオーディオハードウェアの選択肢として表示されますが、KONA 3/KONA LHi/Io Expressなどを選択する必要があります。Core Audioドライバを選択した場合、音声に関する問題が発生する可能性があります。この件に関する詳細な情報は、Io Expressユーザーズマニュアルの82ページ（英語）を参照してください。
- ・ Adobe Premiere Proの使用中に再生を停止した場合、CTIは1～2フレーム前にずれる場合があります。
- ・ Adobe Premiere ProからQuicktimeファイルをエクスポートする場合、AJAのFile Exporterを利用する必要があります。Premiere Proが提供するQuicktime File ExporterとAJA製品を併用することは、Premiere Proがクラッシュする原因となる可能性があります。
- ・ AJAデバイスコントロールダイアログは、Premiere Proのキャプチャウインドウを閉じる前に閉じる必要があります。先にキャプチャウインドウを閉じた場合、Premiere Proがクラッシュします。
- ・ 今すぐキャプチャ時には、RS-422経由でタイムコードの記録ができません。タイムコードが必要な場合にはRP-188エンベデッドタイムコードを使用して下さい。
- ・ 一部のSony製VTRをジョグ機能でリモートコントロールする場合、正しく動作しない場合があります。

- ・ Premiere Pro の設定のうち、「render RT files of different resolutions」のチェック/アンチェックの切替えは、すぐには効果が反映されません。一旦プロジェクトを保存し、再起動を行う必要があります。
- ・ Variable Frame Rates (VFR) のプルダウン追加は、タイムコード情報に最適化しません。
- ・ 今すぐキャプチャ及びビデオにプリント時に、プルダウンフレームレートは動作しますが、インサートエディット及び、In/Outキャプチャ、バッチキャプチャでは動作しません。